

2014年3月期決算  
および  
新中期経営計画説明会

2014年5月12日

**Nabtesco Corporation**

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

- I. 2014年3月期連結業績概況
- II. 前中期経営計画のレビュー  
(2012年3月期～2014年3月期)
- III. 新中期経営計画  
(2015年3月期～2017年3月期)



- I. 2014年3月期連結業績概況
- II. 前中期経営計画のレビュー  
(2012年3月期～2014年3月期)
- III. 新中期経営計画  
(2015年3月期～2017年3月期)



## 連結業績概況 (前期比)

Nabtesco

### 前年同期および修正予想に対し増収増益

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 修正予想	2014/3 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	179,543	198,900	202,292	22,748	12.7%
営業利益	15,013	18,500	20,092	5,079	33.8%
(営業利益率)	8.4%	9.3%	9.9%	1.5pt	-
営業外損益	2,876	-	4,134	1,258	-
経常利益	17,890	22,100	24,227	6,337	35.4%
特別損益	1,107	-	-705	-1,812	-
税金等調整前 当期純利益	18,997	-	23,522	4,524	23.8%
当期純利益	13,269	13,900	14,978	1,708	12.9%
一株当たり 純利益	104.57円	109.03円	117.95円	13.38	

**Remarks: 売上高**

● 2014/3は中国高速鉄道需要増をはじめ  
自動ドア・油圧機器・航空機での為替効果  
により増収

**Remarks:**

**特別損益 (損失の主な内容)**

● 2014/3  
退職給付制度改訂損 837百万円  
● 2013/3  
負ののれん発生益 1,026百万円  
※主にナブコドア100%株式取得による

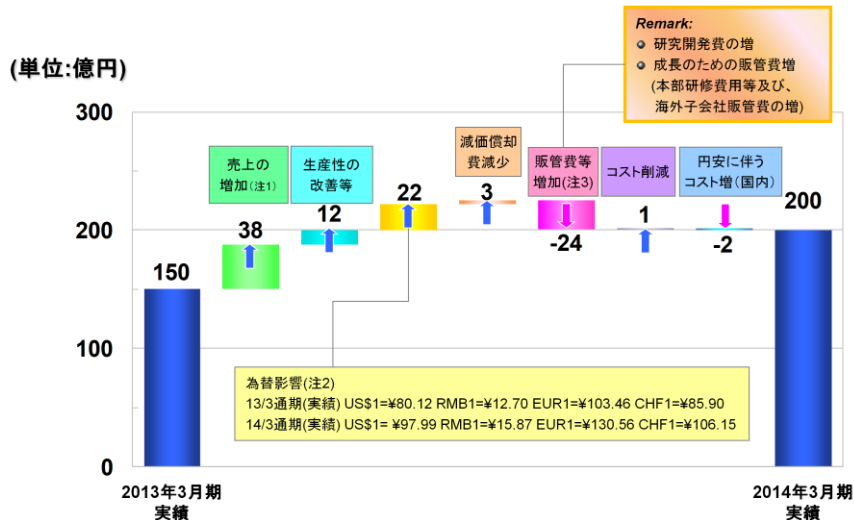
一株当たり 配当金	34円	38円	38円 (予)	4円
配当性向	32.5%	34.9%	32.2%	-0.3pt

注: 当社海外子会社に関しては1~12月決算であり、3ヶ月分の期ずれが生じております。

4

- ・当社創業以来、2014年3月期連結売上高は初めて2000億円を上回り、当期純利益も過去最高。

# 連結損益実績 (営業利益変動要因分析)



- 注1: 売上の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。  
 注2: 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)  
 米国ドル99百万円、人民元60百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微  
 注3: 販理費等の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

# 精密機器事業

# Nabtesco

## 2014年3月期実績

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 修正予想	2014/3 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	41,578	43,300	42,853	1,275	3.1%
営業利益	5,354	6,300	6,359	1,004	18.8%
営業利益率	12.9%	14.6%	14.8%		

光造形装置



真空機器



### 主要製品と顧客 (敬称略)

#### ●精密減速機

産業用ロボット: ファナック、安川電機、KUKA Roboter (独)、  
ABB Robotics (スウェーデン)  
工作機械: ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

#### ●新エネルギー事業

風力発電機用駆動装置: 三菱重工業、他



精密減速機



風力発電機用駆動装置



太陽追尾駆動装置

### Notes:

- 精密減速機: 13/3期に計上した太陽熱発電向け売上高が14/3期は計上されなかったものの、産業用ロボット向け需要回復により、精密減速機の売上高は微減。
- 新エネルギー事業: 風力発電向けは、13/3期比大幅増加。太陽熱発電向けは14/3期は売上高の計上なし。
- 営業利益 (全体): 14/3期は、精密減速機での生産性向上及び間接費の削減効果により増益。

# 輸送用機器事業

Nabtesco

## 2014年3月期実績

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 修正予想	2014/3 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	44,262	49,800	52,641	8,378	18.9%
営業利益	4,214	5,200	6,344	2,129	50.5%
営業利益率	9.5%	10.4%	12.1%		

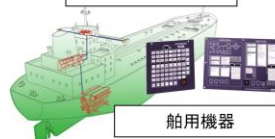
### 主要製品と顧客(敬称略)

- 鉄道車両用機器 ブレーキシステム、ドア開閉装置  
JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け、他
- 商用車用機器 エアブレーキ周辺機器  
三菱ふそうトラック・バス、日野自動車、いすゞ自動車、UDトラック
- 船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置  
川崎重工業、三井造船、日立造船、三菱重工業、Hyundai Heavy Industries (韓)、ディーゼル ユナイテッド、Doosan Engine Co., Ltd (韓)、MAN Diesel (デンマーク)

### 鉄道車両用機器



### 商用車用機器



### 船用機器

### Notes:

- 鉄道車両用機器: 14/3期は、中国高速鉄道向け売上高の増加、国内での補修部品需要の増加により増収。
- 商用車用機器: 14/3期は、国内でのトラック需要が堅調に推移し、増収。
- 船用機器: 14/3期は、新造船発注の回復を受け、増収。
- 営業利益(全体): 14/3期は、各事業での増収に伴い増益。

7

・2014年3月期輸送用機器セグメントの売上高が第2四半期修正後の計画より増えたのは、鉄道車両用機器事業における中国高速鉄道向け売上増によるもの。

# 航空・油圧機器事業

Nabtesco

2014年3月期実績

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 修正予想	2014/3 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	45,746	52,400	52,533	6,786	14.8%
営業利益	1,836	3,100	3,862	2,026	110.3%
営業利益率	4.0%	5.9%	7.4%		

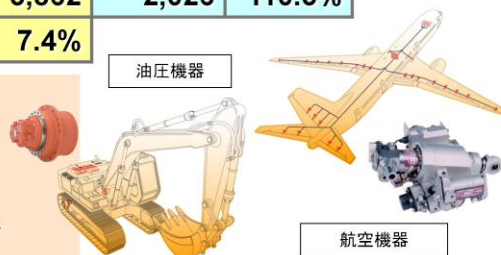
主要製品と顧客(敬称略)

●油圧機器:

日本: コマツ、コベルコ建機、クボタ、住友建機  
中国: Sany, Xugong Excavator, Liu Gong, Zoomlion

●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社



油圧機器

航空機器

Notes:

- 油圧機器: 14/3期は、国内での排出ガス規制に伴う駆け込みによる需要増、中国市場における建設機械完成車在庫減少による需要の緩やかな改善および為替効果により増収。
- 航空機器: 14/3期は、民間航空機需要の拡大および為替効果により増収。
- 営業利益(全体): 14/3期は、主に油圧機器での売上増に伴い増益。

8

- ・油圧機器事業について、売上増に伴う工場操業度アップにより増益。
- ・航空機事業について、欧州エアライン向けMRO※需要の停滞により、営業利益は横ばい。

※ MRO: Maintenance, Repair, Overhaul



# 産業用機器事業

# Nabtesco

## 2014年3月期実績

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 修正予想	2014/3 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	47,956	53,400	54,264	6,308	13.2%
営業利益	3,608	3,900	3,526	-82	-2.3%
営業利益率	7.5%	7.3%	6.5%		

### 主要製品と顧客(敬称略)

- 自動ドア  
各種建物用自動ドア:  
大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関  
プラットホームドア: フランス地下鉄、中国地下鉄、他
- 包装機(東洋自動機)  
味の素、日本ハム、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、  
花王、ライオン、三井製糖、Mars(仏)、北米飲料メーカー、中国食品メーカー



自 NABCO 動

自動ドア



包装機



専用工作機

### Notes:

- 自動ドア: 14/3期は、国内外市場での堅調な推移と為替効果により増収。
- 包装機: 14/3期は、13/3期に発生した国内製糖業界特需の終息に加え、海外向けの売上高減少により減収。
- 営業利益(全体): 14/3期は、自動ドアが国内外市場で堅調に推移したものの、海外での会計制度変更に伴う退職給付費用の計上、円換算によるのれん代の増加、包装機での減収により横ばい。

9

・自動ドア事業において、海外での会計制度変更に伴う退職給付費用の影響額は約4億円。

## BS概況

Nabtesco

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 実績	差異
<b>資 産</b>	<b>203,056</b>	<b>233,984</b>	<b>30,928</b>
( 現 預 金 等 )	40,903	53,725	12,822
( 売 上 債 権 )	45,131	52,840	7,708
売上債権回転日数	94日	88日	6日
( 棚 卸 資 産 )	20,529	22,233	1,704
棚卸資産回転日数	55日	53日	2日
( 有 形 固 定 資 産 )	54,475	55,225	749
<b>負 債</b>	<b>82,198</b>	<b>94,513</b>	<b>12,314</b>
( 有 利 子 負 債 )	26,389	26,204	-184
<b>純 資 産</b>	<b>120,857</b>	<b>139,471</b>	<b>18,613</b>
( 新 株 予 約 権 )	304	306	1
( 少 数 株 主 持 分 )	6,514	8,121	1,606
<b>自 己 資 本</b>	<b>114,038</b>	<b>131,043</b>	<b>17,004</b>
※ 自己資本比率:	<b>56.2%</b>	<b>56.0%</b>	

## Remark:

- 支払手形及び買掛金  
+7,239百万円
- 未払法人税等  
+2,640百万円

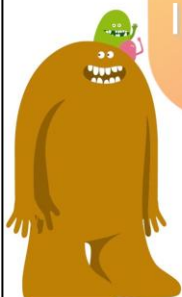
## Remark:

- 利益剰余金  
+10,618百万円
- 為替換算調整勘定  
+8,470百万円
- 自己株式  
-2,247百万円

10

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 実績
設備投資額	10,190	6,760
研究開発費	5,535	6,401
減価償却費	7,923	7,600
FCF	-741	19,533

- I. 2014年3月期連結業績概況
- II. 前中期経営計画のレビュー  
(2012年3月期～2014年3月期)
- III. 新中期経営計画  
(2015年3月期～2017年3月期)



## 主要経営指標の達成状況

Nabtesco

	2011年3月期 実績	2014年3月期 前中期計画	2014年3月期 実績
売上高	1,693億円	2,400億円	2,022億円
営業利益	202億円	313億円	200億円
営業利益率	11.9%	13%	9.9%
当期利益	133億円	203億円	149億円
ROA	8.1%	9.5%	6.9%
ROE	15.8%	17.0%	12.2%
配当性向	23.6%	30%	32.2%

## 2014年3月期セグメント別前中期計画・実績比較

# Nabtesco

(単位:百万円)

セグメント	項目	前中期計画値	実績値	達成率	コメント
精密機器	売上高	53,000	42,853	81%	(精密減速機) ● 産業用ロボットのゼロ成長 ● 太陽熱発電プロジェクト遅延
	営業利益	10,900	6,359	58%	
輸送用機器	売上高	60,000	52,641	88%	(鉄道車両用機器) ● 中国鉄道事故による発注抑制 ● 中国地下鉄向けの苦戦による伸び悩み
	営業利益	7,800	6,344	81%	
航空・油圧機器	売上高	77,000	52,533	68%	(油圧機器) ● 中国建機需要減 (航空機器) ● 為替効果
	営業利益	8,100	3,862	48%	
産業用機器	売上高	50,000	54,264	109%	(自動ドア) ● 為替効果 ● 海外での会計制度変更に伴う一過性損失 ● 海外拠点再構築費用 ● 円換算後でののれん増
	営業利益	4,500	3,526	78%	

14

・精密減速機事業:産業用ロボット市場が年率8%で成長すると見込んでいたが、実際2011年～2013年の3年間ほぼゼロ成長。

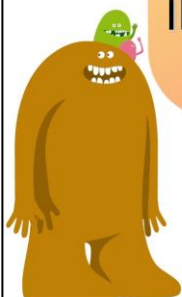
・鉄道車両用機器事業:中国鉄道事故による発注抑制は2年間続いた。2013年度後半より発注が回復してきたが、前中期計画に対して未達。

・油圧機器事業:中国建機市場におけるショベル需要のピークはCY2011年だった(約17万台)。CY2013年は11.2万台にとどまっていた。中国建機市場の需要減が主な未達の要因。

・航空機器事業:ほぼ計画通り。

・自動ドア事業:為替効果により売上高計画を達成。

- I. 2014年3月期連結業績概況
- II. 前中期経営計画のレビュー  
(2012年3月期～2014年3月期)
- III. 新中期経営計画  
(2015年3月期～2017年3月期)



# 新中期計画の位置づけ

## Nabtesco

2020年に向けて

**Challenge & Creation!**  
既存事業の伸長と新事業創出



## Nabtesco

2014年

2004年統合  
**NABCO**  
TEIJIN  SEIKI

5 + 4 Business Units

**Changes & Harmonization!**  
事業融合と成長により環境変化へ対応



## 計数計画:概要

Nabtesco

2017年3月期までにEPS190円をめざす。

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	2017年3月期 計画	2021年3月期 長期ビジョン 2012年5月策定
売上高	2,022億円	2,160億円	2,800億円±5%	4,000億円
営業利益	200億円	216億円	340億円	600億円
営業利益率	9.9%	10.0%	12.0%	15.0%
当期利益	149億円	155億円	240億円	-
ROA	6.9%	6.5%	7.5%	11.0%
ROE	12.2%	11.5%	15.0%	18.0%
配当性向	32.2%	32.8%	30%以上	

### 2015/3～2017/3の中期経営目標

①さらなる事業規模拡大・収益性の追求

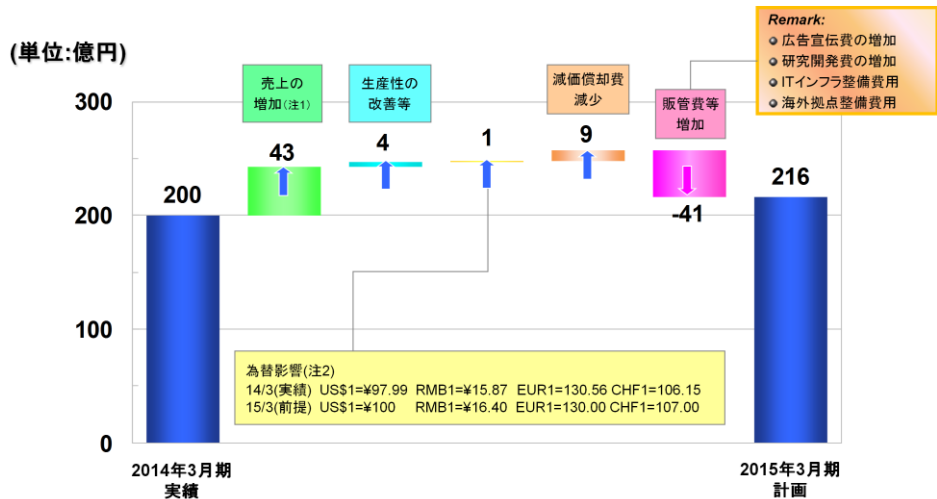
②資産・資本効率を意識した経営の推進

③成長性を考慮した企業収益の配分

17

- ・新中期計画期間中(2015年3月期～2017年3月期)、営業利益率を段階的に改善していく。
- ・2015年3月期の配当性向を32.8%とし、1株当たり配当金は40円の予定。今後も基本的に増配と考えている。

# 連結損益予想 (営業利益変動要因分析)








注1: 売上の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

注2: 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)

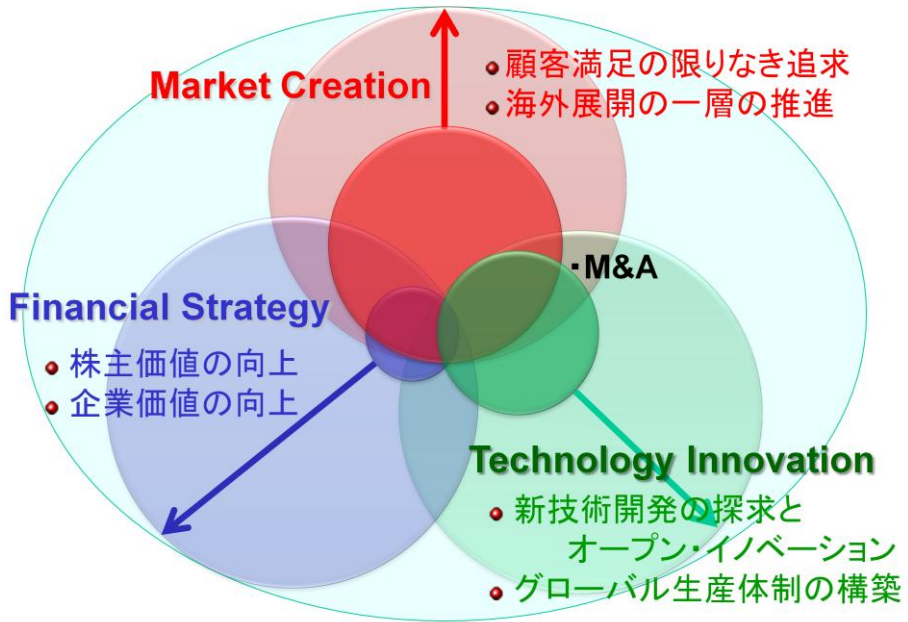
米国ドル 107百万円 人民元69百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

・2015年3月期より、当社および一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法として定率法から定額法に変更するため、2015年3月期の減価償却費は約9億円減少する見込み。

**Think Global! Act Local! For the Second Decade**  
**～ Challenge & Creation ～**

-  **顧客満足の限りなき追求**
-  **海外展開の一層の推進**
-  **新技術開発の探究とオープンイノベーション**
-  **グローバル生産体制の構築**
-  **株主価値、企業価値の向上**

- ・グローバル展開する事業：精密減速機事業、航空機機器事業、船用機器事業。
- ・地域型事業：鉄道車両用事業、商用車用機器事業、油圧機器事業、自動ドア事業。



### 高付加価値製品の市場投入

「安心・安全・快適」を提供する **Best Solution Partner** として、より付加価値のある新製品を展開

### 海外展開の加速

海外展開の一層の推進

### MRO強化

有望市場のMRO※体制構築・強化

※MRO: Maintenance, Repair, Overhaul

### ブランディング強化

「ナブテスコ」ブランドの強化・浸透

21

- ・現在当社はコンポーネントメーカーで、2017年3月期に向けてより高付加価値製品の提供を目指す。
- ・今期中インド拠点を設立し、今後中東拠点も設立する予定。
- ・事業基盤の安定化を実現するために、現在「待ち」のMROから「攻め」のMROへ取り組んでいく(精密減速機事業と油圧機器事業を除く)。
- ・ブランド向上および人材確保のために、今後広告宣伝費用等を増やす予定。

### 開発推進

多様なニーズに対応する製品のスピーディな提供に向けた、自社開発及び共同開発を推進

### グローバル生産の加速

グローバル生産体制の構築による「地産地消」の確立

### 国内工場のマザー工場化

国内工場の近代化

22

・スイス連邦工科大学とパワーエレクトロニクス応用技術に関する開発を目的として、共同開発を開始した。

・当社はコスト削減の目的で海外工場を作らない。基本的によりお客様に近いところに、現地通貨で取引し、為替リスクをヘッジする「地産地消」型を取る。

・「地産地消」を推進するが、キーパーツは日本工場から出している。ランニングコストといった電気料金等が下がらない日本工場において、工場近代化を進め、競争力を強化する。

## 資産効率の追求

資産、資本効率 (ROA、ROE) を意識した経営の推進  
着実なキャッシュの創出

## 財務レバレッジの活用

デット調達 (銀行借入 + 普通社債)  
信用格付けシングルA格維持(\*)

※JCRによる格付け

## 株主還元の上

配当性向30%以上を維持、安定配当  
(配当性向が40%超えない限り、減配せず)

業績実績及び計画

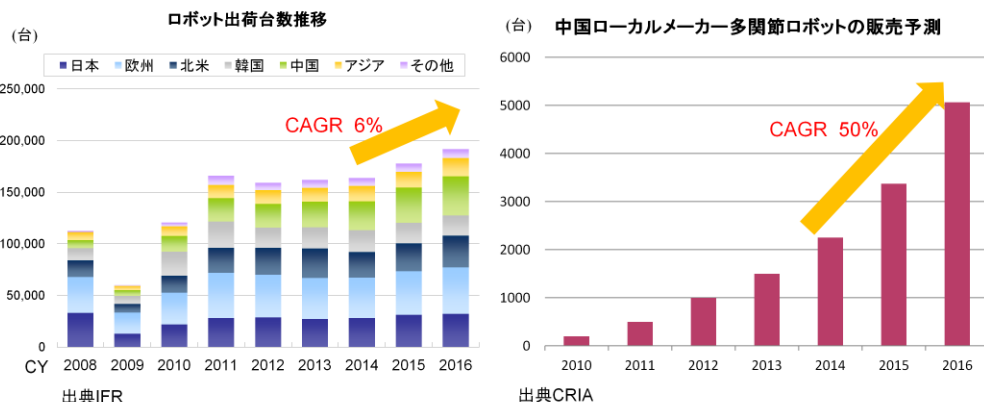
(単位:百万円)	2014/3			2015/3			2017/3
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	通期 計画
売上高 (前年同期比)	19,513 (-3.9%)	23,339 (+9.8%)	42,853 (+3.1%)	22,700 (+16.3%)	23,100 (-1.0%)	45,800 (+6.9%)	66,000
営業利益 (前年同期比)	2,665 (+24.2%)	3,694 (+15.1%)	6,359 (+18.8%)	3,100 (+16.3%)	3,700 (+0.2%)	6,800 (+6.9%)	11,200
営業利益率	13.7%	15.8%	14.8%	13.7%	16.0%	14.8%	17.0%



※2013年4月の新エネルギー事業本部の立上げに伴う開示セグメントの変更により、2014/3期以降の数値には、従来、油圧機器事業に計上されていた風力発電機用駆動装置の売上が含まれます。



# 精密機器事業:精密減速機中期戦略



## 主な取組み

- 中国拠点を活用した中国ローカルロボットメーカーの需要取り込み
- 産業用ロボット以外の分野向け新製品の投入
- 顧客の絶対的信頼獲得によるロボット市場のシェア堅持

25

・中国ローカルロボットメーカーへの対応は2013年に設立した中国合弁会社任せ。今まで既存のお客様は従来の商流で、日本サイドが対応する。

・新型アクチュエーターを日本、欧州、中国市場に今後投入する予定。

# 輸送用機器事業

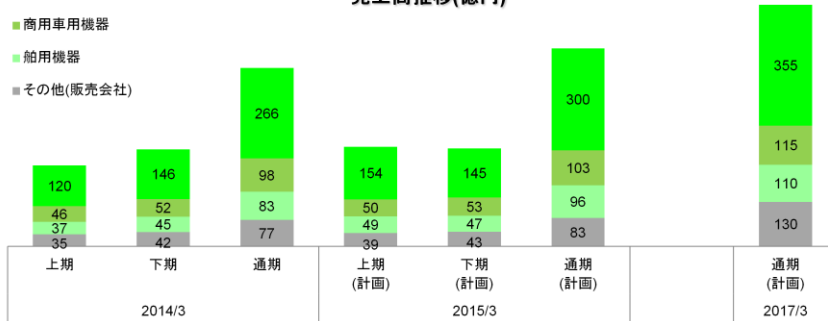


## 業績実績及び計画

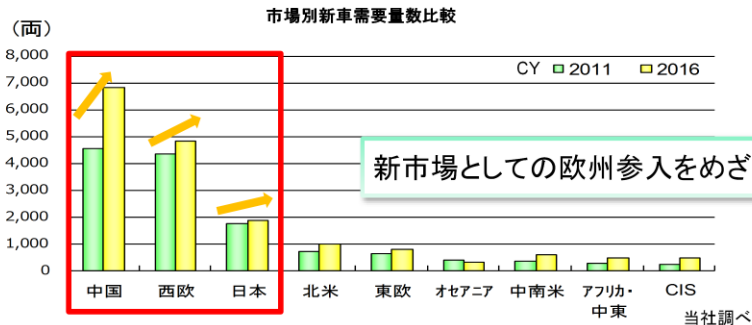
(単位:百万円)	2014/3			2015/3			2017/3
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	通期 計画
売上高 (前年同期比)	23,960 (+6.2%)	28,681 (+32.2%)	52,641 (+18.9%)	29,400 (+22.7%)	28,900 (+0.8%)	58,300 (+10.8%)	71,000
営業利益 (前年同期比)	2,581 (+5.3%)	3,762 (+113.6%)	6,344 (+50.6%)	4,200 (+62.7%)	3,800 (+1.0%)	8,000 (+26.1%)	10,700
営業利益率	10.8%	13.1%	12.1%	14.3%	13.1%	13.7%	15.1%

- 鉄道車両用機器
- 商用車用機器
- 船用機器
- その他(販売会社)

売上高推移(億円)



# 輸送用機器事業：鉄道車両用機器中期戦略 **Nabtesco**



## 主な取組み

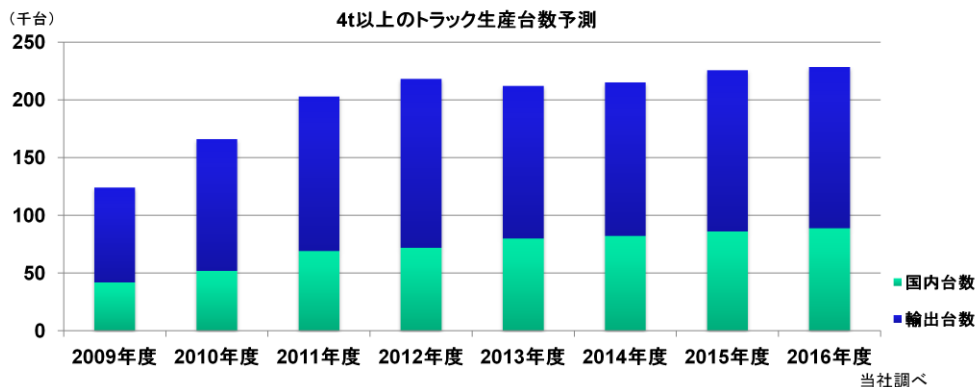
- 中国、欧州への新製品投入と販売拡大
- 日本・中国・欧州の三極体制での最適な開発、調達、生産
- MRO強化（専任営業の設置）

27

- ・鉄道車両用機器事業における中国市場での成長：  
中国高速鉄道向けは2015年まで成長する見込み。  
地下鉄市場が増えるが、競合他社がいるため競争激化が考えられる。  
当社はQCDを向上させ、中国地下鉄市場において、20%のマーケットシェアを目指す。
- ・欧州市場向けは2013年に買収したイタリア鉄道車両用ドアメーカーOclap社を活用し、欧州鉄道車両メーカーBig 3であるAlstom, Bombardier, Siemensとの取引を目指す。
- ・今まで日本におけるMRO需要のほかに、東南アジアで稼働している日本からの中古車向けのMRO需要を取り込むために、先行準備している。

## 輸送用機器事業：商用車機器中期戦略

Nabtesco

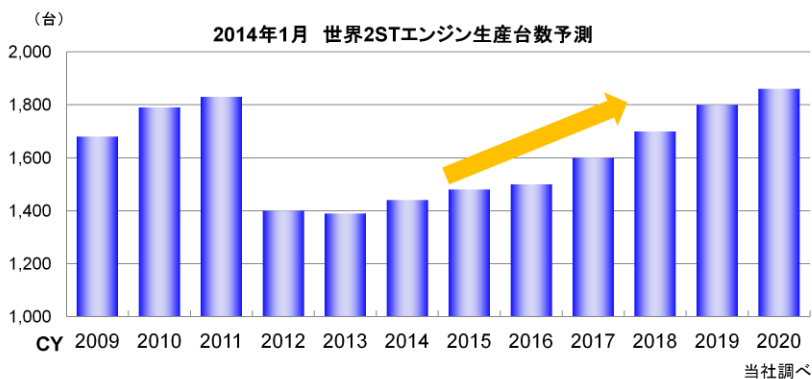


### 主な取組み

- 製品提案力とタイ・インド拠点を活用したASEAN市場を始めとした海外販売拡大
- 生産性向上及び海外調達拡大によるコスト削減

## 輸送用機器事業：船用機器中期戦略

Nabtesco



### 主な取組み

- 日本・中国・韓国での三極生産体制の整備
- 市場別キープレイヤーの攻略
- 予防保守提案とサービスネットワーク拡充によるMRO拡大

29

・2013年下期より、円安効果を受け、新造船発注の回復により受注が増えてきた。

・2013年に中国新工場の立ち上げにより、船用機器事業は日・中・韓3拠点体制で、MROビジネスを増やし、収益力を高める。

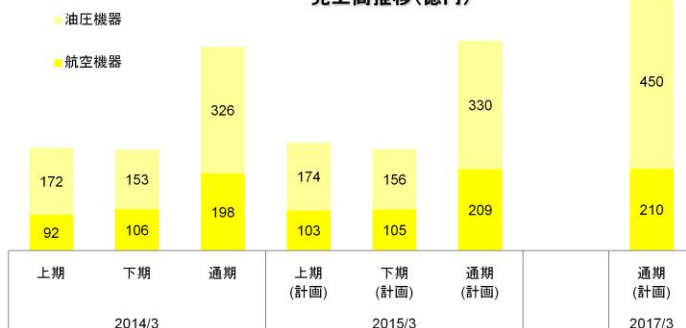
# 航空・油圧機器事業



## 業績実績及び計画

(単位:百万円)	2014/3			2015/3			2017/3
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画	通期計画
売上高 (前年同期比)	26,538 (+3.2%)	25,994 (+29.8%)	52,533 (+14.8%)	27,800 (+4.8%)	26,200 (+0.8%)	54,000 (+2.8%)	66,000
営業利益 (前年同期比)	1,840 (+8.9%)	2,022 (+1275.5%)	3,862 (+110.3%)	1,200 (-34.8%)	1,600 (-20.9%)	2,800 (-27.5%)	5,900
営業利益率	6.9%	7.8%	7.4%	4.3%	6.1%	5.2%	8.9%

売上高推移(億円)

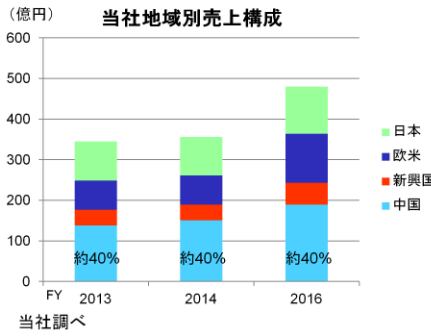
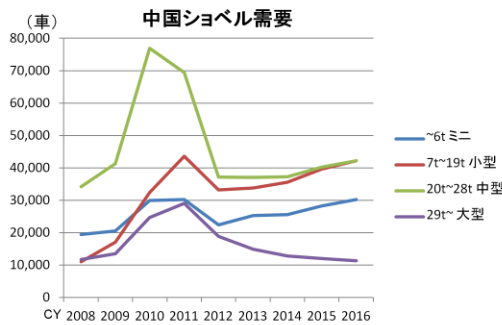
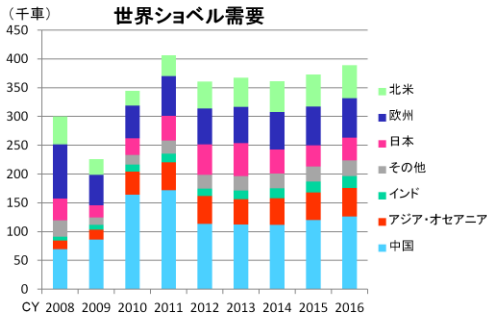


※2013年4月の新エネルギー事業本部の立上げに伴う開示セグメントの変更により、2013/3期まで油圧機器事業に含まれていた風力発電機用駆動装置の売上は、2014/3期より、精密機器事業セグメントに計上しております。

・2015年3月期は増収減益の計画。

・前年比で2015年3月期に全社の販管費が増加する見込み。人員数で各セグメントに割り振るため、人員数が多い航空・油圧機器事業に与える影響は大きい。それはこのセグメントの営業利益を押し下げる主要因。

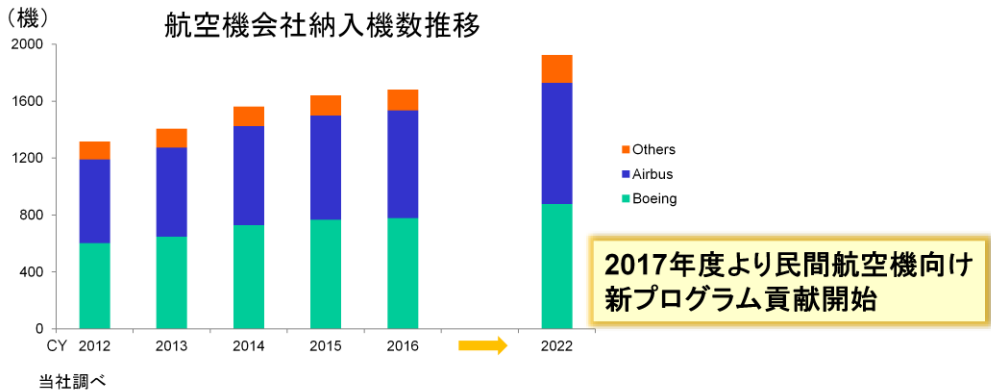
# 航空・油圧機器事業：油圧機器中期戦略



**主な取組み**

- 中国でのビジネスを維持、欧米向けビジネスの拡大
- 現地調達への推進による収益性向上
- リードタイム短縮や自動化推進により生産変動への対応力強化

・サブシステム化により製品の単価アップを狙う。



**主な取組み**

- 防衛省向けのビジネスを維持しつつ、民間航空機向け新プロジェクトへの製品提案
- 顧客密着営業によるMRO体制の構築・強化、収益性向上
- 高技能と最新技術による生産改革の実行、差別化の追求

・新中期計画期間中、防衛省向けは微増の計画。  
現在の為替ベースでボーイング社向けも微増の見込み。

・三菱重工業向けのMRJとボーイング社向けの737MAXの受注は既に決まっている。新プログラムの開始に向けて、生産能力増強のための設備投資をする予定。

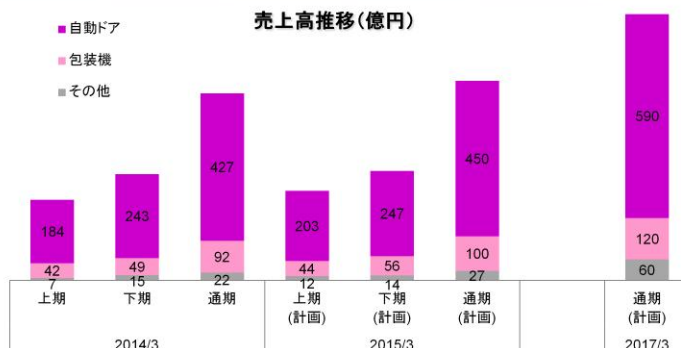


# 産業用機器事業



## 業績実績及び計画

(単位:百万円)	2014/3			2015/3			2017/3
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画	通期 計画
売上高 (前年同期比)	23,445 (+6.2%)	30,819 (+19.1%)	54,264 (+13.2%)	26,100 (+11.3%)	31,800 (+3.2%)	57,900 (+6.7%)	77,000
営業利益 (前年同期比)	851 (-34.0%)	2,675 (+15.1%)	3,526 (-2.3%)	600 (-29.8%)	3,400 (+26.7%)	4,000 (+13.4%)	6,200
営業利益率	3.6%	8.7%	6.5%	2.3%	10.7%	6.9%	8.1%



GDP成長率

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2018
Japan	-1.0	-5.5	4.7	-0.6	1.4	1.7	1.7	1.0	1.1
Switzerland	2.2	-1.9	3.0	1.8	1.0	1.7	1.8	1.9	1.9
USA	-0.3	-2.8	2.5	1.8	2.8	1.9	2.8	3.0	3.1
Euro Area	0.4	-4.4	2.0	1.5	-0.7	-0.4	1.0	1.4	1.6
UK	-0.8	-5.2	1.7	1.1	0.3	1.7	1.7	1.0	2.3
Germany	0.8	-5.1	3.9	3.4	0.9	0.5	1.6	1.4	1.2
France	-0.1	-3.1	1.7	2.0	0.0	0.2	1.0	0.8	1.9
Austria	1.4	-3.8	1.8						
Canada	1.2	-2.7	3.4						
Russia	5.2	-7.8	4.5						

出典：IMF World Economic Outlook

**先進国で成長するにはM&Aによる市場拡大が必要**

**主な取組み**

**自動ドア：**

- バリューチェーン経営による事業基盤の強化
- M&Aによる事業規模の拡大
- 市場・地域特性に合わせた製品ラインアップ拡充
- MRO事業の強化による収益性向上

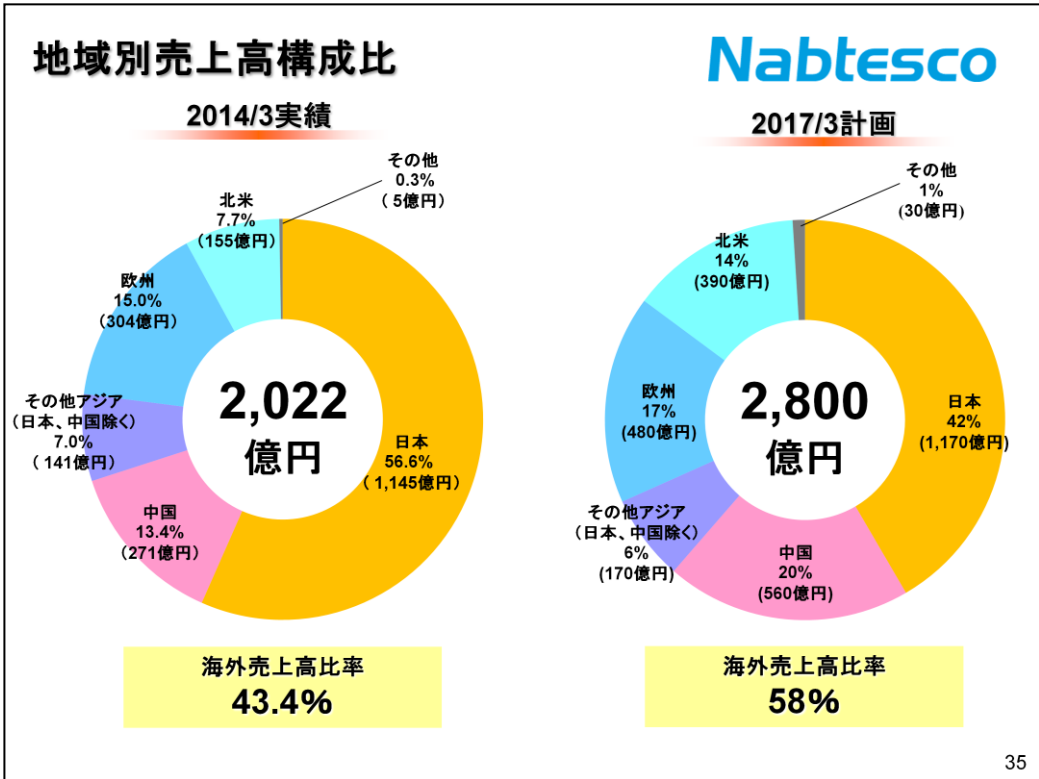
**主な取組み**

**包装機：**

- 販売ネットワークの強化による中国・北米におけるビジネス拡大
- 地域密着型のサービス体制構築によりMROビジネスで更なる収益性向上

・自動ドア事業に関して、欧州と北米におけるM&Aによる増収効果は2016年3月期より織り込んでいる。

・自動ドア事業と包装機事業はMRO事業の拡大による収益性向上を目指す。



・各地域における成長ドライバーは:

中国向け: 鉄道車両用機器事業、精密減速機事業、油圧機器事業 (サブシステム化による増収分)

北米向け: 自動ドア事業、新エネルギー事業

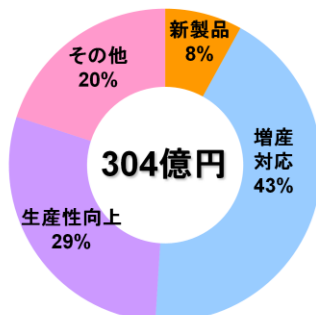
欧州向け: 自動ドア事業、精密減速機事業 (産業用ロボット向け、新アプリケーションの拡販)

## 設備投資額・研究開発費・減価償却費

Nabtesco

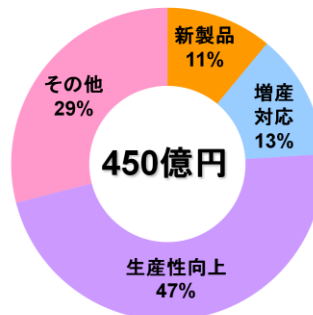
	前中期3カ年累計 (12/3期～14/3期 実績)	新中期3カ年累計 (15/3期～17/3期 計画)
設備投資額	304億円	450億円
研究開発費	171億円	230億円
減価償却費	221億円	230億円

目的別設備投資額



前中期3カ年累計実績

目的別設備投資額



新中期3カ年累計計画

36

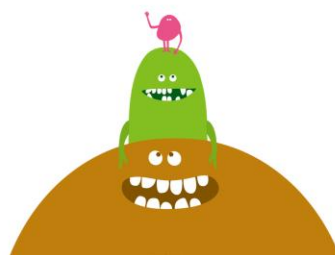
・前中期計画では増産対応を多く行ってきたが、新中期計画では将来成長のために国内工場の近代化を中心として設備投資をする予定。

・新中期計画中の研究開発費用は累計売上高の3%程度と計画している。

・2015年3月期より、当社および一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法として定率法から定額法に変更する。

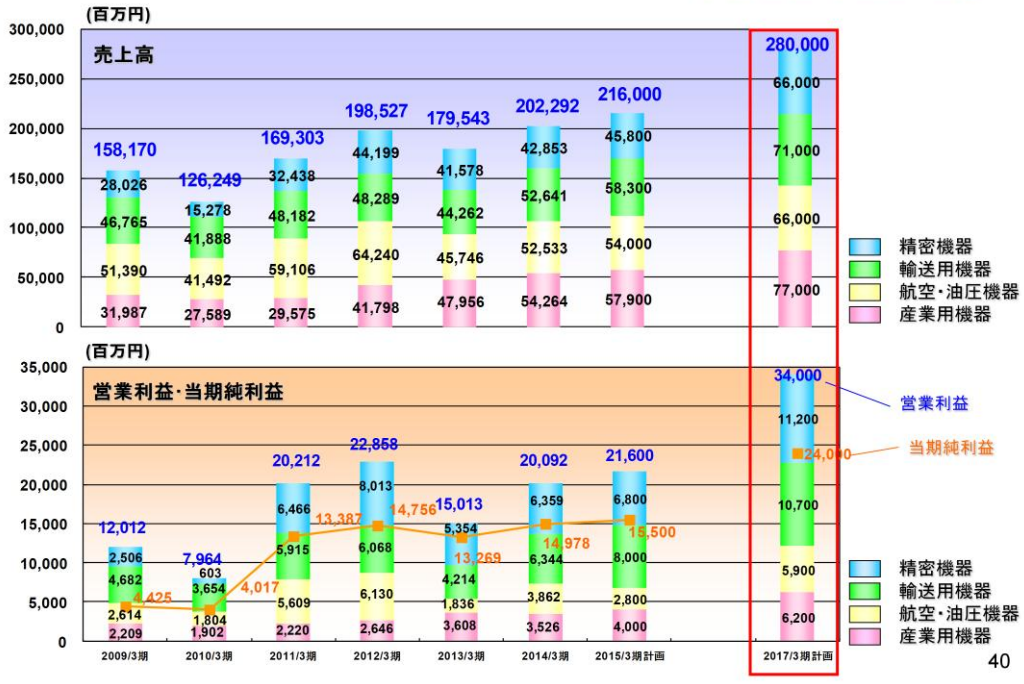


うごかす、とめる。  
**Nabtesco**



# Appendix

# 事業セグメント別 売上高・営業利益推移

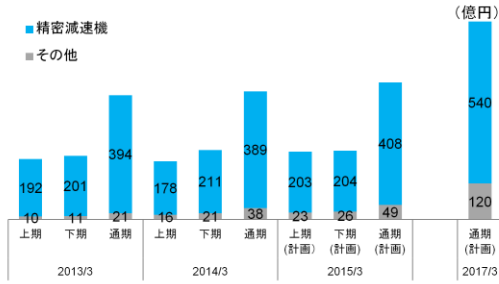




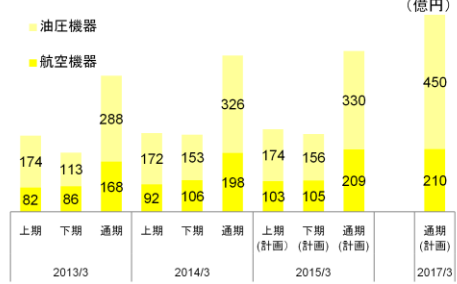
# 事業別売上高推移



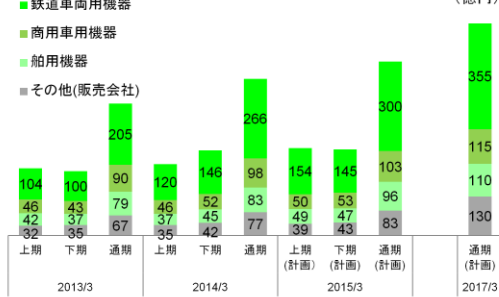
### 精密機器セグメント



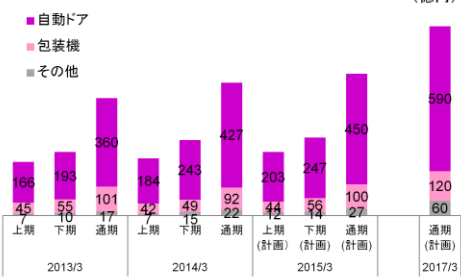
### 航空・油圧機器セグメント



### 輸送用機器セグメント(※)



### 産業用機器セグメント



※ 2014年3月期第2四半期決算説明会の資料とは、連結償却額の組み入れ方法を変更。

2015/3~2017/3 為替前提 US\$1=¥100 RMB1=¥16.40 EUR1=¥130.00 CHF1=¥107.00

## 設備投資額・研究開発費・減価償却費

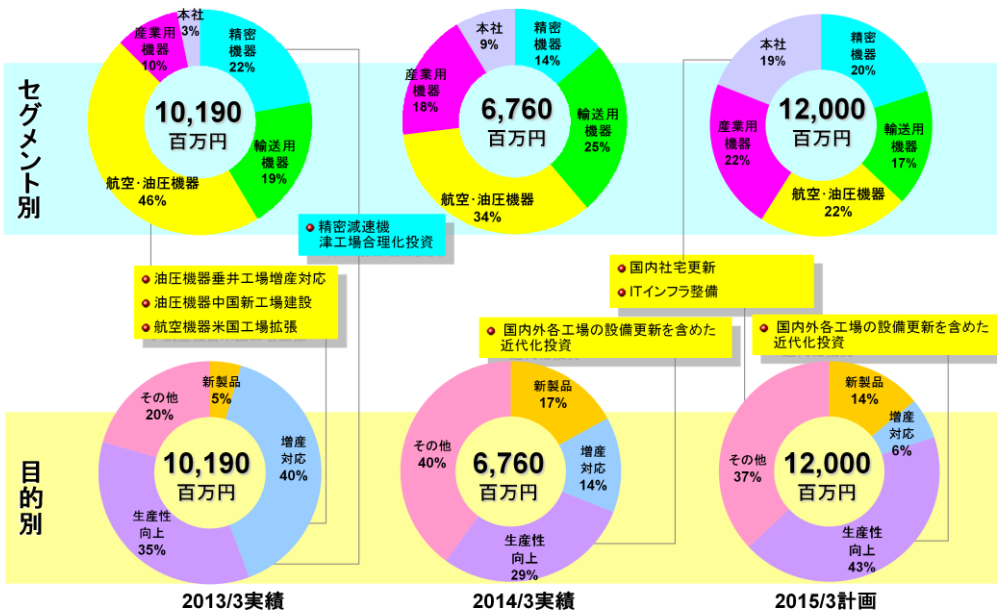
Nabtesco

(単位:百万円)	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 計画
設備投資額	10,190	6,760	12,000
研究開発費	5,535	6,401	7,000
減価償却費	7,923	7,600	6,700

### Notes:

- 15/3期は14/3期の期ずれ分及び国内工場の近代化を中心に設備投資を増やす予定。
- 14/3期当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法として定率法を採用しているが、15/3期より定額法に変更するため、15/3期の減価償却費が約9億円減少する見込み。

# 設備投資額内訳



# 連結キャッシュ・フロー

